

QOLサポーター新潟

— 新潟医療福祉大学広報誌 —

第2号

2001年9月28日発行 新潟医療福祉大学広報委員会編集

開学式



4月5日、竣工開学記念式典が行われ、平山新潟県知事、長谷川新潟市長をお招きし、新潟医療福祉大学の船出を祝いました。

入学式



4月11日、晴天の中、第1回目の入学式が行われました。新潟医療福祉大学の第一期生として、5学科計321人が入学しました。

新潟医療福祉大学 開学6か月の あゆみ

6月19日、創立記念式典が行われ、来賓各位からのご祝辞に続いて、石川 誠先生に特別記念講演をしていただきました。

7月20・21日、初めてのオープンキャンパスが行われ、2日間で387人が参加し、体験実習や施設見学、個別相談を受けました。



創立記念日



オープンキャンパス

誌名「QOLサポーター新潟」の由来

世界一の長寿国となった我が国では、「いのちの長さ」を伸ばすことと同等に、「生活の質、Quality of Life, QOL」を豊かにすることが、益々重要になっております。新潟医療福祉大学では障害者、高齢者などのQOLを高くすることを支援する（サポート）人材を育成します。このような人材を「QOLサポーター」と名づけました。そして皆様に本学の内容、活動をお知らせする広報誌を「QOLサポーター新潟」としました。



竣工・開学記念式典 祝 辞

●新潟県知事 平山 征夫

新潟医療福祉大学の開学に当たり、一言お祝いを申し上げます。

池田理事長さん、高橋学長さんをはじめ、関係の皆様の多大な御尽力により、本日でたく新潟医療福祉大学の開学記念式典を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

県といたしましても、明日の新潟県を担う有為な人材を育成し、若者の定着や地域の活性化を図るため、大学等高等教育機関の整備に対し、支援をしてきたところであり、このたびの医療技術学部及び社会福祉学部を擁する4年制大学となる新潟医療福祉大学の開学を、本日御臨席の皆様とともに心からお慶び申し上げます。

21世紀を迎えた今日、本県は、全国に先行する形で高齢化が進行しており、今後到来する本格的な高齢社会において、県民が健康で安心して暮らせる福祉社会を実現することが、大きな課題となっております。

そのため、県では、21世紀初頭に向けた新潟県の発展の方向性と、それを実現するための基本的な方策を明らかに

した「新しい県の長期総合計画」において、県づくりの基礎となるさまざまな施策を3つの体系にまとめる中で、「ゆうゆう・くらしづくり」をひとつの柱として掲げ、保健・医療・福祉の充実した社会づくりを推進していくこととしております。昨今、県民の保健・医療・福祉に対するニーズは益々多様化、高度化してきており、これらの様々なニーズに的確に対応できる、高度な専門知識と技術を有した人材の育成が待ち望まれてきました。

このたびの、医療・福祉の分野を統合した広い視野を持つ人材の育成を目指した新潟医療福祉大学の開学は、これらの時代潮流や地域の要請に的確に応えるものとして、誠に時宜を得たものであり、今後地域に根ざした大学として、その理想の実現に向かって邁進され、本県のみならず、わが国の高等教育の発展に大きく貢献されますことを、切に希望いたします。

終わりに、新潟医療福祉大学の発展とお集まりの皆様のご健勝を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。



竣工・開学記念式典 祝 辞

●新潟市長 長谷川 義明

新潟医療福祉大学の竣工・開学記念式典に当たり、一言お祝いを申し上げます。

学校法人 新潟総合学園におかれましては、新世紀の幕開けに、新潟医療福祉大学開学という新たな歴史を刻み始められましたことに、心からお慶び申し上げます。ここに至るまでの、池田理事長、高橋学長をはじめ、関係の皆様のご熱意とご努力に対し、深く敬意を表するものであります。

21世紀を迎えた今日、社会構造の急激な変化とともに、少子高齢化が急速に進み、本格的な長寿社会の到来を迎えて、保健医療や福祉に寄せる国民の要望は、ますます多様化・複雑化しております。保健医療の分野におきましては、予防から治療、そしてリハビリテーションまでを一体的に捉えるなど、より広範な知識と高度な専門性を持った専門職の養成が急務であり、また、社会福祉の分野におきましても、地域福祉や在宅ケアの一層の充実のため、地域とともに高齢社会を支え、福祉のみならず保健医療にも精通した専門職が強く求められております。

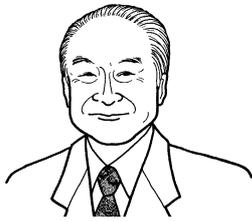
こうした社会的要請にこたえるため、豊かな人間性と高潔な倫理性とに立脚し、実践的な知識と技術を習得した人材を育成し、国民の健康と福祉の向上に貢献することを、

建学・教育の理念とする、新潟医療福祉大学が開学されましたことは、当市にとりましても誠に心強く、多くの方々から、高い期待が寄せられているところであります。

新潟市におきましては、新潟都市圏の特長を活かした政令指定都市の実現を目指しながら、市民がいつまでも住み慣れた地域で、安心して、心豊かに暮らしていけるよう、「一人ひとりが大切にされ、いきいき生きる『健康福祉都市』」を施策の重要な柱の一つとして位置づけ、地域を拠点とした、保健福祉施策の充実に全力で取り組んでおります。

このたびの新潟医療福祉大学の開学は、当市のこうした施策推進のうえでも大変に意義深く、本学で、保健・医療・福祉の分野を総合的に学ばれる学生の皆さんが、21世紀という希望の世紀に、有能なリーダーとして大きく成長されますことを、心からご期待申し上げます。

終わりに、輝かしい門出を迎えられた新潟医療福祉大学が開かれた教育の場として、地域と手を携えて、地域社会の一翼を担い、大きく発展していかれることを、ご期待申し上げますとともに、ご参席の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



竣工・開学式挨拶

●学長 高橋 榮明

学長の高橋でございます。この良き日に一言ご挨拶と感謝の言葉を述べさせていただきます。今日は、年度始めのウイークデーの大変お忙しい中、平山知事様、長谷川市長様、高橋県議会議長様、松原市議会議長様、県議会・市議会の議員の皆様、報道関係ならびに多数の会社、団体の皆様、そして地域の皆様のご出席を得て、この竣工・開学記念式典を迎えたことは、私にとって感慨無量であり、皆様のご支援に深く感謝するものであります。この新潟医療福祉大学が発足できることは、新潟地域の私たちにとても非常にうれしいニュースであります。その開学にあたって、今までの準備の状況を簡単に報告させていただきます。

個人的になりますが、地域において強い要望のあった医療福祉職の4年制大学設立を十数年前から計画し、微力を尽くしてまいりました。しかし、それは国立では難しく、4年前にここにおられます池田理事長の、私立で設立するとの計画に私は参画することになりました。そして、一昨年6月17日にその準備財団が文部省から認可され、昨年12月21日に大学設置が許可され、それ以来学生募集、入試と進んでまいりました。

その設立準備にあたり、皆様と共に最も嬉しいことは、日本のトップクラスの非常に優れた方がたを、教員としてこの大学に迎えることができたことであります。

まず、その教員を紹介させていただきます。医療技術学部長で言語聴覚学科長の湧井 豊です。前職は上越教育大学の副学長でございました。次は社会福祉学部長の山手茂です。前職は東洋大学の教授で日本医療社会福祉学会の前会長、保健医療社会学会の現会長です。次は理学療法学科の学科長黒川 幸雄です。前職は北里大学の教授で日本理学療法士協会の副会長を務めております。作業療法学科長の矢谷 令子です。前職は国際医療福祉大学の教授で、日本における作業療法学分野のパイオニアの一人でもございます。健康栄養学科長の村山 篤子です。川村短期大学の生活学科の学科長を務めておりました。

これらの優れた日本のトップクラスの教員と相談して、我が新潟医療福祉大学は特徴あるカリキュラムを組むことができました。それを、コアカリキュラムと呼んでいます。



開学記念式典後の祝賀パーティー

これは医療福祉基礎科目で、医学概論、解剖学、生理学、社会福祉総論、ボランティア論等々、医療技術学部の学生も社会福祉学部の学生も両方が履修できるようにし、いわゆる理系、文系の学生とも共通の知識をもって医療福祉の分野で活躍できるように、この中核となるカリキュラムを設定いたしました。

さて、このようなコアカリキュラムで私達はどのような人材の育成を目指しているか、次に述べます。21世紀の医療では今までの「命の長さを伸ばす」という考えから患者さん、障害者、高齢者の「生活の質を高める」、英語で言いますとQuality of Life、短縮してQOLといいますが、それらの人々のQOLを高める、生活の質を豊かにすることを支援する人材を育成したいと思います。私はこれを簡単に「QOLサポーター」との名前を付けました。その人物像は明るく、情熱があり、そして積極的な行動力を持つ若者です。このQOLサポーターは医療福祉の深い理解者、ゼネラリストであると同時に、広い専門知識を持つ高度専門職スペシャリストとして、チーム医療福祉ができるようになることを目標にしています。そして5学科のどの科からの出身者でも一人で5人分の力を発揮するようになることを願っています。

この5学科協力の考え方のシンボルとして、図書館の屋根をデザインしていただきました。「生命」を、光を放つ先端で表し、その「生命」を支える融合する5学科を五角錘の屋根で表現しました。アメリカの国防総省をその建物の形からペンタゴンといいますが、この五角錘の屋根をペントルーフと名づけ、このようなシンボルの建物で、常に学生達にチームで行う医療と福祉の実現を考えてもらいたいと思っております。

それらの学生が実習できますように、本年4月に改組、開院した主たる関連病院を作り、新潟リハビリテーション病院と名づけました。この病院では医療スタッフの医師、歯科医師、看護婦、と同時に理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士を病棟に配属し、医療福祉スタッフが同時に働き、そこで実習する学生は実際にチーム医療、チーム福祉ということを身をもって、体験できるようにして行きたいと思っております。

今後の予定ですが、4月11日に入学式、4月16日から授業を開始して行く予定でございます。学生にはこれから県内、県外の病院あるいは施設でいろいろ実習させていただき、4年後にはこの学生たちは、医療福祉の深い理解者（ゼネラリスト）であると同時に、高度専門の国家資格をもつスペシャリストとして送り出す予定でございます。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

本日はこの竣工・開学記念式典にあたり、ご出席の皆様方の今までのご厚情、ご支援に深く感謝するとともに、今後さらにご指導、ご鞭撻を賜りますようここでお願いするものであります。皆様、本日は大変有難うございました。

新入生誓いの言葉

●医療技術学部 理学療法学科 1年 齋藤 裕香

本日は、私達新潟医療福祉大学新入生のために、このような盛大な入学式を催していただき、誠にありがとうございます。

只今、高橋栄明学長から、あたたかい励ましの言葉を頂戴し、私達新入生一同、これから始まる学生生活への決意を新たにいたしました。

さて、「人生 80年時代」とも言われる今日の日本社会では、今後、老年人口比率は、ますます増大し、それに伴い医療福祉への期待も今まで以上に高まってくると思われまます。このような状況において、単に長く生きるのではなく、自分らしく、一日一日をより良く生きるという、QOLの考え方が重要となってきます。21世紀の医療福祉に必要な、QOLの充実のためには、それぞれの分野が断片的にQOLを支えるのではなく、新潟医療福祉大学のシンボルトワーが五角錘であるように、それぞれの分野が一つになり総合的な視野でQOLを支えていく姿勢が必要となりま

す。これから私達が、この新潟医療福祉大学で過ごす卒業までの日々は、QOLサポーターとして、社会で活躍するための大切な準備期間です。QOLの充実という、時代の求める医療福祉の実現に向け、様々な体験を通して、医療福祉の心を深く理解し、また自らも育んでいきたいと思ひます。広い知識と高い専門性、そして豊かなコミュニケーション能力を併せ持つQOLサポーターとなれるよう、日々努力し続けたいと考えています。

本日ここに入学を許可されました新入生一同は、只今から新潟医療福祉大学の学生として、新たな一歩を踏み出すこととなります。一期生としての自覚を持ち、お互いに助け合い、励まし合い、そして時には競い合いながら、情熱を持って、知識・技術の修得に励み、幅広い教養と豊かな人間性を身につけられるよう精一杯努力していくことを、ここに誓ひます。

入学式 式次第 (4月11日)

開式の辞	10:30～
入学許可	10:32～
学長式辞	10:38 30分
新入生宣誓	11:08 齋藤裕香 (PT)
新潟大学管弦楽部による記念演奏	11:13～ 「アイネクライネナハトムジーク」
閉式の辞	11:30



誓いの言葉を高橋学長へ

創立記念特別記念講演

講師 石川 誠 先生

6月19日、創立記念特別講演講師の石川 誠先生からは、リハビリテーション（以下リハと略す）の病院長として、第一線のご経験を踏まえた上で、将来像についても総りあるご提言をいただいた。

ごく簡潔に要約すると、これまでのリハは、急性期及び回復期リハともに病院を中心として発達してきたが、とても不十分である。これからは維持期リハを含め、急性期→

回復期→維持期の連携が地域の中で完結し、予防的な概念をも含めた、地域リハ構想が21世紀には求められている。その意味でリハ職種の需要は益々増大するであろう。

お聞きして、リハ3科の将来性について安堵したばかりでなく、それこそ地域リハは、多職種の連携によるチーム・アプローチであり、それこそ我々の目指すQOLサポーターの姿であることが実感できた。

創立記念式 式次第

一、挨拶 理事長 池田 弘

一、講話 学長 高橋 榮明

一、来賓祝辞

新潟県理学療法士会会長 深川 新市 様

新潟県作業療法士会会長 樋浦 功 様

新潟県言語聴覚士会会長 目黒 文 様

新潟県医療ソーシャルワーカー協会副会長 坪田 泰志 様

新潟県介護福祉会会長 岡田 史 様

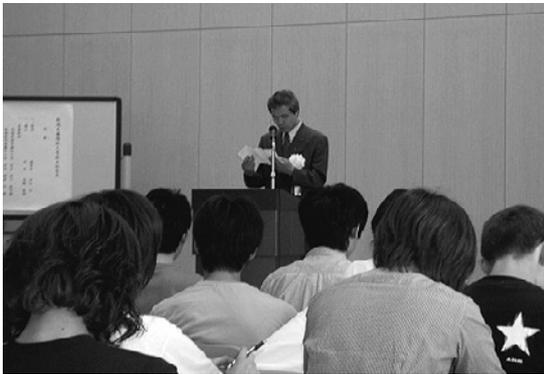
一、特別記念講演

医療法人近森会 顧問

医療法人輝生会 理事長

(平成14年6月初台リハビリテーション病院開院予定) 石川 誠 先生

演題「21世紀の地域リハビリテーション」



ご来賓からのご祝辞

●創立記念式について

大学設立に際して、平成11年6月17日に文部省から新潟医療福祉大学設立準備財団の設置認可を頂きましたが、その日を創立記念日としました。

今年は6月17日(日)が創立記念日で、6月19日(火)に創立を記念しての式典を行いました。

年に1度健学の理念・精神を確認する機会としたいと考えています。

●開学までの歩み

H 11. 6. 17 (財)新潟医療福祉大学設立準備財団設立許可(文部省)

H 12. 12. 21 新潟医療福祉大学設置認可(文部省)

(学)新潟総合学園設立認可(文部省)

理学・作業・言語各学科の指定校の指定(文部省)

H 13. 3. 28 健康栄養学科の指定校の指定(文科省・厚労省)

H 13. 4. 5 竣工・開学式

H 13. 4. 11 第1回入学式

●これからの日程

10/ 1 後期授業開始

10/20 AO入試第1次面接試験

10/28 大学祭

11/ 9 AO入試第2次面接試験

11/17 指定校推薦入学選考試験

11/18 社会人等特別入学及び高等学校推薦、自己推薦入学選考試験

11/26~30 社会福祉学科「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」

1/ 9 新年未来の会

1/21 後期授業終了

1/28~2/5 後期定期試験

2/ 6 一般入学選考試験前期日程

2/18~22 理学療法学科・作業療法学科「臨床実習Ⅰ」

3/ 9 一般入学選考試験後期日程

オープンキャンパス

7月20日・21日、開学して初めてのオープン・キャンパスであり、事前に申し込みの人数を把握してはいたものの、実際にそれだけ来てもらえるのか?あるいはほとんどなく大勢であったら?などと杞憂していたが、初日にあふれんばかりの人数を乗せたバスが次々と入って来た時には、身のひきしまる思いがした。

1) 高橋学長に続いて、湧井、山手両学部長のあいさつ

2) 入試委員長の黒川教授による入試説明

を大講堂で行った後、各自の選択によりコースは3つに分かれた。

① 遠藤教授による模擬授業

② 各科の個別相談

③ キャンパス内の施設見学

昼食後は、②の個別相談、③の施設見学に加えて、各科の工夫した④体験学習に参加してもらった。

結局、20日は269人、21日(土)は高校の終業式と重なったこともあり118人の参加であった。(受け取りカード回収枚数による、同伴者数を含まない)

体験学習は評判が良く、新入生がお手伝いしてくれたことも印象が良かったようで、何通かお礼状をいただき、教員、スタッフともども達成感とともに胸をなでおろしたところ。

ただし、昼食時の混雑緩和、中央競馬開催による交通事情への考慮のほか、さらなる工夫を加え、来年はより一層充実したオープン・キャンパスにしたいと考えている。



大講堂における入試説明

ホームページ

新潟医療福祉大学 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

Niigata University of Health and Welfare Website

新潟医療福祉大学 いのちの質を学ぶ大学 学部・学科のご紹介 キャンパスガイド 入学試験情報 交通アクセス 学内情報 Home

触れる、差し伸べる、その手から全てが始まる。

医療福祉の本質と現実。それは、手で触れてみなければわかりません。差し伸べる手からじかに、またコミュニケーションを通して、人間同士としてのあたたかさや思いやりといった、より人間らしい触れあいの中から医療福祉の世界が広がります。知識や技術を実践の場でさらに活かすために、新潟医療福祉大学は「触れる」ことから、現代の医療福祉のキーワードであるQOL (Quality of Life) の実践を始めていきます。

Topics and Site News

■4月11日に晴天の中、新潟医療福祉大学 第一回目の入学式が行われました。
新潟医療福祉大学の第1期生として理学療法学科52名、作業療法学科49名、言語聴覚学科50名、健康栄養学科46名、社会福祉学科124名の計321名が入学致しました。

■4月5日に竣工開学記念式典が行われました。当日は、平山新潟県知事、長谷川新潟市長をお招きし、新潟医療福祉大学の船出を祝いました。

新潟医療福祉大学
(C) 2001 Niigata University of Health and Welfare
〒950-3198 新潟県新潟市島見町1398番地
TEL.025-257-4455(代) FAX.025-257-4456

<http://www.nuhw.ac.jp>



新潟リハビリテーション病院

新潟県豊栄市木崎字尾山前761番地

TEL 025-388-2111(代) FAX 025-388-3010

リハビリテーション科・整形外科・内科・神経内科・
歯科・歯科口腔外科



平成13年4月1日に開院した新潟リハビリテーション病院は、回復期のリハビリを中心とした総合的なリハビリテーション病院であるとともに、新潟医療福祉大学の主実習病院としての機能を備えています。

大学祭ご案内

第一回大学祭を計画するにあたり、前例がなく、大変苦労しています。しかし、これがこれからの伝統になるのだと心に刻み、それを糧として日々がんばっています。

今年のテーマは「地域」、より本学を地域の皆様をはじめ、たくさんの人たちに知っていただきたいと思っています。本学が何を目指し、どのようなことを学んでいるのか理解していただきたく、学科紹介・体験学習の場を設けました。地域の皆様と積極的に交流を図れたらと思っています。また、太陽の村とフリーマーケットという形で交流を図り、本学らしい活動もあります。年々このような活動を増やしていきたいと考えています。

アーティストも、県内でこれから活躍しようとしている、いわば今の私たちの状況に近い方たちを選び、共に歩いていきたいという意味を込めました。彼ら、彼女らの歌に共感するものが数多くあることでしょう。

学生321名が一丸となって第一回大学祭を成功させたいと思っています。ぜひ一度足を運んでみてください。

(学生会会長 齋藤公二)

第一回新潟医療福祉大学大学祭

日時：平成13年10月28日 午前10時～午後4時

- 「ひなた」、「マンハッタンレイン」野外ライブ
- 雅童(雅楽)野外コンサート
- 出店(抹茶、あんみつ、中華など約15店舗)
- フリーマーケット(二店舗、約400品以上)
- パフォーマンスライブ(カラオケ、漫才など)
- 各学科紹介・体験学習